



2020年5月26日

各 位

上場会社名 東芝テック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 池田 隆之
 (コード番号：6588 東)
 問合せ先 経営企画部 広報室長 水野 隆司
 (TEL 03-6830-9151)

親会社名 株式会社 東芝
 代表者名 代表執行役社長 CEO 車谷 暢昭
 (コード番号：6502 東、名)
 問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長
 石山 一可
 (TEL 03-3457-2100)

東芝テック株式会社の2020年3月期通期決算における 個別業績の決算値と前事業年度の実績値との差異に関するお知らせ

本日公表した東芝テック株式会社の2020年3月期通期決算における個別業績の決算値と、前事業年度の個別業績の実績値とに差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期個別業績と前事業年度実績値との差異 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 期 実 績 (A)	249,394	5,358	8,335	8,875	161.51
今 回 実 績 (B)	268,970	7,149	8,503	279	5.07
増減額 (B-A)	19,576	1,791	168	△8,596	
増減率 (%)	7.8	33.4	2.0	△96.9	

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。
前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 差異が生じた理由

売上高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響などを受けて、プリンティングソリューション事業において海外市場向け複合機の売上が減少したものの、リテールソリューション事業において消費税率引き上げ及び軽減税率制度の実施に伴い国内市場向けPOSシステムの売上が大幅に増加したことなどにより、前事業年度に比べて増加いたしました。

営業利益は、プリンティングソリューション事業の損益が減少しましたが、リテールソリューション事業の損益が国内で大幅に増加したことなどにより、前事業年度に比べて増加いたしました。

経常利益は、営業利益の増加はあったものの、関係会社からの受取配当金が減少したことなどにより、前事業年度に比べて僅かに増加いたしました。

当期純利益は、グローバルコマースソリューション事業向けの債権に関し、前事業年度は貸倒引当金戻入額を計上しましたが当事業年度は貸倒引当金繰入額を計上したこと、繰延税金資産の一部を取り崩したことなどにより、前事業年度に比べて減少いたしました。

— 以 上 —